

ふみびと

第316号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

手紙で綴る 想像の風景

顔が見える手紙

「字が汚くて読めない」

子どもの頃にそんな風に母に嘆かれたことから始め（させられ）た書道教室。せつかちなところがあつたのか、いつも殴り書きのように急いで字を書いていて、大人になつて見てみるととても丁寧な字に書いたとは思えないような字。

書道教室に通つた甲斐もあつて少しは読める字になつたのですが、それでも子どもの自分が見ても上手い人にはとても敵

わないとわかるものでした。

そんな中「綺麗な字」と言われたらと思いがちながらも、なかなかそうはなれなかつた子どもの頃の私がしたことがとにかく丁寧に書くこと。

「綺麗な字」と言われることはあまりなかつたけれど「読みやすい字」と言ってもらえるようになつたことが、子どもながらにとっても嬉しいことでした。

「お手本」といわれるよ



うな綺麗な字を書けることはもちろん理想ですが「綺麗な字」でなくても伝えたいことと思いがちやんと伝わっていることがわかつたような気がして、そう思えたのかもかもしれません。

「字」は人の性格や生き方を映す鏡のようなもの。教科書のように誰が見ても綺麗な字を書く人もいれば、独特な癖のある字を書く人、苦手なの

に書いてくれたことが伝わるようなものも。

もちろん読みやすさの違いはあるけれど、それでも読む相手のことを思いながら丁寧に書いた手紙のその文字の一つ一つは、どれも書いた人の顔が見える愛おしいものに感じるものです。

その思いは「綺麗な字」でなくてもいい、そう思わせてくれる魔法のようなもの。書いてくれた文章を読むだけでなく相手の「顔」が見える。そんなところもまた文通の魅力なのかもしれませぬ。

お知らせ

3月の発送日

3月の発送は、13日、27日の予定です。送りたいお手紙がある場合にはそれぞれ3日前（10日、24日）までに事務局に到着することをあ近くの郵便局で確認の上ポストに投函してください。

今年の目標

言葉の冊子

毎年恒例イベント「言葉の冊子」今年の目標「にたくさんの方の投稿ありがとうございます。すでに、Web上に掲載しておりますので、ぜひご覧ください！また、近日中に違うイベントも開催致します。

視点

うコーヒーの香りに誘われるように、ふいに足を踏み入れることができた。店内は思ったよりも奥行

近所に気になるカフェがある。落ち着いた面持ちの建物で、扉の横に大きめの窓があるけれども、光の加減なのか中の様子はよくわからない。いつか入ってみようと思いつきながら、いつも前を素通りする。佇まいが端正すぎるせいか、なかなか一歩が踏み出せないでいたけれど、ついに先日、漂

きがあり、店員さんの穏やかな笑顔のおかげで、あつという間にくつろいだ気持ちでコーヒーを飲む。驚いたのは窓から外がずいぶん美しく見えることだ。街路樹がつける光と影とその隙間に見える歩道色合いがまるで額縁の中の絵のようだった。以来、通りを歩くと自分が絵の一部になつたような気持ちになる。素敵な店を手に入れた気分だ。